

本当は好きだからやる

気持ちが悪かった。
こんな勉強部屋で、
閉じ籠もっての勉強はいやだ。

それで、英語の宿題、英作文を
するため、下の居間に降りた。

テレビを見ながら、時々、
京太と幹夫と話をしながら、
半分、遊んでいる調子だった。

それでも気持ちがバツとしないので、
トレーニングウェアに着替えて、
桃山御陵まで馬拉ソンに行った。

寒くてまわりには誰もいない。

階段を一気に登った。
気持ちがスカッとした。

あの夏の女の子もこんな気持ちで
階段を登り降りしていたのかなあ。

もう夕暮れで、
明治天皇の御陵も、
うっすらとしている。

少し、階段の上で腰をかけて、
冬の宇治川の平原を見た。

